

Cisco IOS プラットフォームでのダイヤル ピアの稼働状態について

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[無効なダイヤルピアの設定](#)

[有効なダイヤルピアの設定例](#)

[ダイヤルピアの設定の確認](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco IOS® プラットフォームでダイヤル ピアの稼働状態を把握する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次のトピックについての専門知識を有している必要があります。

- [Cisco IOS プラットフォームにおけるダイヤル ピアとコール レッグの理解](#)
- [Cisco IOS プラットフォーム上での着信ダイヤル ピアと発信ダイヤル ピアについて](#)

音声ネットワーク (VoIP、VoFR、VoATM) と POTS ダイヤルピアが無効で、「稼働状態 (operational status) 」になっていない場合、Cisco IOS ルータ/ゲートウェイ インバウンドとアウトバウンドノダイヤルピアの照合プロセスは行われません。有効で稼働状態となるには、ダイヤルピアは下記の条件のいずれかに適合している必要があります。

1. Destination-pattern と voice-port、もしくは session target が設定されている。
2. Incoming called-number が設定されている。
3. Answer-address が設定されている。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

無効なダイヤルピアの設定

前記の3つのルール条件に基づき、次の表に稼働状態がダウンになるダイヤルピアの設定例を示します。

ダイヤルピアの例

```
dial-peer voice 1 pots
  port 1/0:23
!--- Invalid dial-peer (rule 1): Has voice-port
configured only. ! dial-peer voice 2 pots destination-
pattern 1T !--- Invalid dial-peer (rule 1): Has
destination-pattern configured only. ! dial-peer voice 6
voip session target ipv4:172.16.13.111 !--- Invalid
dial-peer (rule 1): Has session target configured only.
! dial-peer voice 7 voip destination-pattern 83... !---
Invalid dial-peer (rule 1): Has destination-pattern
configured only. !
```

注：サブコマンドを使用しないダイヤルピア設定文は、1、2、3の違反により無効と見なされま
す。

有効なダイヤルピアの設定例

前記の3つのルール条件に基づき、次の表に稼働状態がアップになるダイヤルピアの設定例を示
します。

有効なピアの例

```
dial-peer voice 3 pots
  destination-pattern 1T
  port 1/0:23
  prefix 1
!--- Valid dial-peer (rule 1): Has voice-port and
destination-pattern configured. ! dial-peer voice 4 pots
incoming called-number 83. !--- Valid dial-peer (rule
2): Has incoming called-number configured. ! dial-peer
voice 5 pots answer-address 408 !--- Valid dial-peer
(rule 2): Has answer-address configured. ss configured.
! dial-peer voice 8 voip destination-pattern 83...
session target ipv4:172.16.13.111 !--- Valid dial-peer
(rule 1): Has session target and destination-pattern
configured. ! dial-peer voice 9 voip incoming called-
number . !--- Valid dial-peer (rule 2): Has incoming
called-number configured. ! dial-peer voice 10 voip
answer-address 6666 !--- Valid dial-peer (rule 2): Has
answer-address configured. !
```

注：着信照合を目的としたダイヤルピアにincoming called-numberまたはanswer-addressが設定
され、destination-patternコマンドが追加されたたと仮定します。コマンド destination-pattern string

を追加すると、ダイヤルピアが稼働上ダウンの状態になります。これは、ルータでアウトバウンドダイヤルピアの照合目的のために、**destination-pattern** がアドレス (**session target**) または音声ポート (**port**) にマッピングされているためです。このシナリオでは、マッピング先はありません。たとえば、ダイヤルピア 4、5、9 および 10 に **destination-pattern** を追加すると、稼働状態 (**operational status**) がダウンに変わります。

注：ダイヤルピア4および5で**destination-pattern**を削除して**port**コマンドを追加すると、ダイヤルピアは有効なままです。同様に、9と10で**destination-pattern**を削除して**session-target**コマンドを追加しても、稼働状態が維持されます。

ダイヤルピアの設定の確認

ダイヤルピア設定の有効性を確認するには、Cisco IOS コマンド **show dial-peer voice summary** を使用します。

ダイヤルピアの設定の確認							
2600#show dial-peer voice summary							
dial-peer hunt 0							
PASS							
	TAG	TYPE	ADMIN	OPER	PREFIX	DEST-PATTERN	PREF
THRU		SESS-TARGET		PORT			
	1	pots	up	down			0
1/0:23							
	2	pots	up	down		1T	0
	3	pots	up	up	1	1T	0
1/0:23							
	4	pots	up	up			0
	5	pots	up	up			0
	6	voip	up	down			0
syst		ipv4:172.16.13.111					
	7	voip	up	down		83...	0
syst							
	8	voip	up	up		83...	0
syst		ipv4:172.16.13.111					
	9	voip	up	up			0
syst							
	10	voip	up	up			0
syst							

関連情報

- [Cisco IOS プラットフォームにおけるダイヤルピアとコールレグの理解](#)
- [Cisco IOS プラットフォーム上での着信ダイヤルピアと発信ダイヤルピアについて](#)
- [Cisco IOS プラットフォームにおける着信および発信ダイヤルピアの照合方法について](#)
- [Cisco IOS デジタル \(T1/E1\) を装備したインターフェイスにおけるダイヤルイン方式 \(DID\) について](#)
- [ダイヤルプラン、ダイヤルピア、ディジット操作の設定](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)